

2021 年度
履修証明プログラム
出願要項

大阪商業大学

【履修証明プログラムとは】

平成 19 年の学校教育法の改正により、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校（以下「大学等」という。）における「履修証明制度」が創設され、12 月 26 日より施行されました。

これまでも科目等履修生制度や公開講座等を活用して、その教育研究成果を社会へ提供する取組が行われてきたところですが、より積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できることとしました（法第 105 条等）。

「履修証明制度」による「履修証明プログラム」として、本学では社会人の方を対象に下記のプログラムを開講いたします。

【プログラムの内容】

- ・本学で開講している授業科目の中から、「教養コース」として 1 つのプログラム、「専門コース」として 2 つのプログラムを一定のまとまりのある学修プログラムとして提供しています。
- ・授業科目は本学学生と同じ時間割、同じ教室で受講していただきます。
- ・各プログラムの授業科目の中から、履修時間が 120 時間以上となるように受講を希望する授業科目を選択してください。

「教養コース」

“地域を探究する”をテーマに主に大阪を中心とした歴史、文化、産業について学びます。私たちが暮らす日本、さらには「大阪」とはいったいどのような特性を持った地域なのか。知られざるその特性を様々な観点から学ぶ機会を提供します。科目は本学の副専攻科目（教養科目）になります。

「専門コース」

（中小企業分野）

“地域社会と中小企業を学ぶ”をテーマに本学がこれまで力を注いできた地域社会と中小企業分野について学びます。中小企業問題や中小企業経営についての知識を、初歩から応用まで幅広く修得することができます。また地域と中小企業の連携による「地域づくり」、地域社会と中小企業に関する様々な科目の中から自ら科目を選択して学ぶことができます。

（公共学分野）

“公共性と地域”をテーマに、公共学の基礎的な理論や事例を学び、社会福祉、官民連携、非営利団体の重要性を理解できます。課題の発見、解決能力を高め、地域に貢献できるスキルを養います。科目は、本学の公共学部配当科目が中心になります。

【開講科目一覧・概要】

○教養コース（開講科目一覧）

開講期	科目名	担当者	配当年次	単位	時間数
前期	日本文化事情	石上	1	2	22.5
	日本の生活文化	松本	1	2	22.5
	日本の食文化（注1）	大西	1	1	10.5
	日本の住文化（注2）	加茂	1	1	10.5
	地域探究論	明石	1	2	22.5
	地域連携史Ⅰ	明尾	1	2	22.5
	地域連携史Ⅱ（オンライン）	戸田	1	2	22.5
	大阪の歴史と文化Ⅰ（注4）	伊藤(純)	1	2	22.5
後期	日本の衣・染織文化（注3）	高須	1	1	10.5
	大阪の歴史と文化Ⅰ（注4）	伊藤(純)	1	2	22.5
	大阪の歴史と文化Ⅱ	明尾	1	2	22.5
合 計				19	211.5

（注1） 前期の後半に全7回の授業を行います。（初回授業日：令和3年6月15日（火））

（注2） 前期の後半に全7回の授業を行います。（初回授業日：令和3年6月11日（金））

（注3） 後期の前半に全7回の授業を行います。（初回授業日：令和3年9月24日（金））

（注4） 前期と後期に開講しますが内容は同じです。受講を希望する場合は前期または後期のいずれかを選択してください。

○教養コース（概要）

開	科目名	担当者	概要
前期	日本文化事情	石上	日本の文化の独自性、また普遍性について、世界の中の日本という視点から考える。様々なテーマや視点から、日本という国の姿を見つめ、日本文化を深く理解していく。
	日本の生活文化	松本	生活文化は、その名の通り、いろいろな人間生活のなかから生み出され、形作られたものである。この授業では、日本人の生活のなかから生み出され、今に続いているものを中心に紹介していく。
	日本の食文化	大西	人々の暮らしと密接にかかわる「食」を題材に取り上げ、その捉え方、認識について他者と比較することを通じて受講生自身の物事の捉え方や認識の特徴に対する気づきを促す。
	日本の住文化	加茂	住まいの文化は、慣れ親しみ、よく知っているようで知らないこと、気づかないことも多いかもしれない。また、場所や時期によって、表出する文化にも違いがある。自国の住文化について、いろいろな切り口から改めて考え、気づき、知る機会とする。
	地域探究論	明石	地域とは何かを考え、地域ごとに特徴や個性があることと、地域間での特徴に共通性があることを学ぶ。地域の特徴や個性を知り、地域ごとの存在感を生み出す要因とプロセスを考える。
	地域連携史Ⅰ	明尾	北前船（西廻り航路）と大阪文化の関係性を考える。近世以降の北前船（西廻り航路）を題材に、その往来による物資の流通が大坂（大阪）経済に及ぼした影響や寄港地を窓口とする地域交流の歴史などに焦点を当てる。
	地域連携史Ⅱ	戸田	江戸時代に旅行ガイドブックとして編纂され、大ベストセラーとなった「摂津名所図会」に、詳細に描き込まれた挿図や解説文を読み解きながら、大坂を中心とする経済や文化のあり方と人々の暮らしの様子を講義する。
	大阪の歴史と文化Ⅰ	伊藤(純)	私たちが学び、生活している大阪を、より理解する。地形、交通、街道、産業、生活といった様々な分野・視点から大阪について学ぶ。
後期	日本の衣・染織文化	高須	日本の染織及び服飾の歴史について、時代によるそれらの変化と発展を追いながら、その中に反映された社会のありようや、日本人の美意識を学ぶ。また、身分による衣服の違い、日本各地で生み出された染織品などについても学び、その延長線上にある現在「きもの」と呼ばれているものを理解して、今後向かう方向や発展の可能性についても考える。
	大阪の歴史と文化Ⅰ	伊藤(純)	前期と内容同一
	大阪の歴史と文化Ⅱ	明尾	大阪画壇をもとに大阪文化の多様性を探る。古き良き大阪が持っていた空気感、人情、日常生活について、その文化受容と表現方法に関して、大阪画壇の絵画作品を通じて考える。

○専門コース

(中小企業分野 開講科目一覧)

開講期	科目名	担当者	配当年次	単位	時間数
前期	地域連携史Ⅲ	糸野	1	2	22.5
	地域経済学Ⅰ	森田	2	2	22.5
	中小企業論Ⅰ	糸野	3	2	22.5
	中小企業金融	林(幸)	3	2	22.5
	経営リーダーシップ論	文能	2	2	22.5
	地域社会と中小企業	糸野・孫・ 前田(啓)・太田	3	2	22.5
後期	地域経済学Ⅱ	森田	2	2	22.5
	事業承継概論	村上	2	2	22.5
	中小企業論Ⅱ	糸野	3	2	22.5
	中小企業政策論	糸野	3	2	22.5
	地域産業振興論	池田・糸野・前田(啓)	3	2	22.5
合 計				22	247.5

(概要)

開講期	科目名	担当者	概要
前期	地域連携史Ⅲ	糸野	地域における経済を歴史的視点から考える。特に地場産業や地域産業に視点を当て、それぞれの地域固有の経済史を考えながら、地域における経済を学ぶ。
	地域経済学Ⅰ	森田	地域をひとつの経済単位として見なし、どの地域でも適用可能な理論や概念について学ぶことで、地域経済メカニズムについての理解を深める。また、地域経済の変容の背景や要因について分析・評価する力を鍛え、地域経済政策が地域にどのような影響を与えるのか、また地域課題に対してどのような政策が有効であるのか考察できる力を養う。
	中小企業論Ⅰ	糸野	中小企業という言葉はよく使用されるが実のところいろいろな考え方が錯綜しているのが現実である。この授業では、日本の企業の99%を占める中小企業について、戦前から振り返り、日本経済において中小企業の果たしてきた役割を考え学ぶ。
	中小企業金融	林(幸)	日本における中小企業を取り巻く金融環境や中小企業の資金調達方法についてその特徴を学ぶ。中小企業はその資金をどのように調達しているのか、中小企業を取り巻く金融はどのようになっているのか、これらのことについて事例を挙げながら理解を深めていく。
	経営リーダーシップ論	文能	組織を円滑に運営するためにはリーダーの役割が重要となり、リーダーシップの発揮が不可欠であることを、経営理論と企業の事例から学ぶ。
	地域社会と中小企業	糸野・孫・ 前田(啓)・ 太田	地域の企業経営者等を招き、現実の企業経営などを伺うと共に、それらの企業・団体が地域とどのような関わりを持っているかを学ぶ。
後期	地域経済学Ⅱ	森田	企業や家計等、経済主体が集積する「都市」をキーワードに、地域経済学の理論や概念について学ぶことで、地域経済メカニズムについての理解を深める。また、都市の盛衰の背景や要因について分析・評価する力を鍛え、経済政策が地域経済にどのような影響を与えるのか考察できる力を養う。
	事業承継概論	村上	単なる事業承継のノウハウではなく、事業承継の社会的意義や本質を考えるとともに、事業承継支援制度や後継者による経営革新の実態などについて事例を交えながら解説する。
	中小企業論Ⅱ	糸野	日本の企業の99%を占める中小企業について、戦前から振り返り、日本経済において中小企業の果たしてきた役割を考え学ぶ。政策的・産業構造の視点から中小企業のあり方を振り返りその立場の変遷を理解する。
	中小企業政策論	糸野	日本における企業の99%までが中小企業である。このような中小企業に関する政策も数多く存在しているが、この授業では歴史的視点から中小企業政策を振り返りながら、日本の中小企業研究についても学ぶ。
	地域産業振興論	池田・糸野・ 前田(啓)	激変する時代を生き抜く地域企業や行政・団体の方を招き、地域産業の振興について一緒に考える。

(公共学分野 開講科目一覧)

開講期	科目名	担当者	配当年次	単位	時間数
前期	地域探求論	明石	1	2	22.5
	公共経営学入門	狭間	1	2	22.5
	公共学 I	宍戸・長妻・松村	1	2	22.5
	経営学概論 I	原	1	2	22.5
	NPO論	中嶋・裕永	1	2	22.5
	地域社会参加論	的場	2	2	22.5
	社会的企業論	池田	2	2	22.5
後期	絆のネットワーク論	桑島・的場	1	2	22.5
	公共経営論	初谷	2	2	22.5
	地域経営論	中嶋	2	2	22.5
	企業の社会的責任論	裕永	2	2	22.5
合 計				22	247.5

(概要)

開講期	科目名	担当者	概要
前期	地域探求論	明石	地域とは何かを考え、地域ごとに特徴や個性があることと、地域間での特徴に共通性があることを学ぶ。地域の特徴や個性を知り、地域ごとの存在感を生み出す要因とプロセスを考える。
	公共経営学入門	狭間	公共経営とは何か、基本的な知識を学ぶと共に、「公共」とは何か、「公共性」とは何を指すのかを考える。近年の自治体を取り巻く環境変化と、それに伴って自治体経営の中に取り上げられている政策評価、指定管理者制度、PFI、市場化テスト等の動きを説明する。さらに、NPO、NGO、市民組織等、地域の様々な主体が、自治体と協働して生み出している新しい公共について考える。
	公共学Ⅰ	宍戸・長妻・松村	社会に関する関心を育て、地域社会に貢献する意義を考え、公共的な精神を養う。多様な視点から「公共」についての理解を深める。
	経営学概論Ⅰ	原	「企業ってなんだろう?」「企業ってどういう仕組みで成り立っているの?」「企業は誰のものなの?」「企業ってどんな活動を行っているの?」など、われわれの生活と密接な関係をもつ「企業」について学ぶ。
	NPO論	中嶋・裕永	阪神淡路大震災以降、広く知られるようになったNPO(非営利団体)について「理論」と「実践」の両方の視点から考える。
	地域社会参加論	的場	個人が地域社会の構成員として自立しつつ、他者との相互理解と連携により地域社会の再生に取り組むあり方、地域社会における「協働」の意義と大切さを学ぶ。
	社会的企業論	池田	地域や社会の課題をビジネスの視点で解決する企業の手法や活動を紹介しながら、地域や社会的課題の解決について考える。
後期	絆のネットワーク論	桑島・的場	豊かな「絆」の醸成は異なる価値観を持つ人々と円滑なコミュニケーションを実現するために欠かせない要素である。異なる価値観を持つ人々が議論と討議を重ねながら新しい公共空間を構築・運営するときに欠くことのできない「絆」の醸成について、ソーシャルキャピタル論やネットワーク論、ファシリテーション論等のアプローチにより学修する。
	公共経営論	初谷	「公共経営と行政経営の違いは?」、「現代社会のさまざまな課題の解決に、公共経営論はどのように役立つのか?」、「優れた公共経営は何か違うのか?」など、公共経営に関する基本知識を学習し、実践事例を検討する。
	地域経営論	中嶋	公共サービスの担い手は行政だけではない。限られた資源(ヒト・モノ・カネ)を効果的かつ効率的に活用するための地域経営とはなにか。官民連携による新しい地域経営の手法と官民に求められる要素を事例とともに学ぶ。
	企業の社会的責任論	裕永	企業のホームページを見てみると、その多くで企業の社会的責任(CSR)に関するページが設けられている。なぜ企業はCSRに取り組むのか。社会にとって役立つ企業でありたいという企業倫理からか、それともCSRは利潤最大化に寄与する活動なのか。経済的価値と社会的価値の両方を追求する企業の経営戦略について学修する。

【受講資格】

下記のいずれかに該当する社会人

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、又は令和3年3月卒業見込みの者。
- ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、又は令和3年3月修了見込みの者。
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和3年3月修了見込みの者。
- ⑤ 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程において、修業年限3年以上の課程を修了した者、又は令和3年3月修了見込みの者。
- ⑥ 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、又は令和3年3月までに合格見込みの者。
- ⑦ 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

【定員】

若干名

【受講期間】

令和3年4月～令和4年3月

※履修コースや授業科目により授業の開始日、最終日は異なります。

※各授業は概ね1週間に1回講義があります。

※休日等は本学の学年暦に準じます。学年暦は出願書類とともに配布します。

【受講方法】

受講科目は対象科目の中から合計120時間以上となるように、受講者が科目を選択します。

本学学生と一緒に対象科目を受講します。

○授業は、1科目90分です。(月曜日～金曜日)

時限	授業時間
1	9:00～10:30
2	10:40～12:10
3	13:00～14:30
4	14:40～16:10
5	16:20～17:50

【受講会場】

大阪商業大学キャンパス（大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10）

【出願手続き】

○出願期間

令和3年3月11日（木）～3月25日（木）※日曜・祝日を除く
9：00～17：00

○出願書類

- | | |
|---------------------------------|----|
| ① 履修証明プログラム履修申請書（本学所定様式） | 1通 |
| ② 履歴書（本学所定様式） | 1通 |
| ③ 最終学校の卒業（見込み）証明書 ※3ヶ月以内に発行したもの | 1通 |

○出願書類に検定料5,000円を添えて出願期間に教務課窓口へ提出してください。

※出願書類と時間割及び学年暦が必要な場合は教務課にお問い合わせください。

※時間割（開講する曜日・時限）は毎年変更があります。

【審査方法】

○書類審査

審査結果発表日：令和3年4月2日（金） 郵便で連絡します。

【受講料等】

履修登録料：30,000円 授業料：120,000円

※受講時間を120時間以上とするためには、12単位以上の受講が必要です。

※12単位を超える分については、1単位1万円を徴収します。

※納入方法は審査結果発表時に連絡します。

【修了要件】

- ・1年間で開講科目の内、6科目以上（120時間以上）を履修し、各科目が定める評価方法（試験又はレポート課題の提出等）により、成績評価において合格点（60点以上）を取得することが必要です。
- ・修了者には学校教育法第105条に基づき、本学より履修証明書を交付します。

【その他】

コース修了の有無に関わらず、当該科目を各成績評価によって修得された場合、希望される方には単位を認定することができます。

【問い合わせ先】

出願を希望される場合は、出願書類を下記までお電話で請求してください。

大阪商業大学 教務課

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10

TEL : 06-6781-8816

FAX : 06-6785-6156